



Version 1.40 追補版

AKAI
professional

使用説明書

ご使用になる前に、必ずこの
使用説明書をよくお読み下さい。

目次

SAVEモード/LOADモード

MEMORY TO CD機能を追加	1
MEMORY TO CDの操作	2
CD-RWの消去について	3
Folder Informationポップアップウィンドウを追加	4

MULTIモード/PROGRAMモード

マルチブロック/プログラムブロックに $\square$ を追加	4
--	---

PROGRAMモード

プログラムブロックにCurveフィールドを追加	5
-------------------------------	---

MEMORY TO CD機能を追加

メモリ内のマルチ/プログラム/サンプル及びALL SEQs AND SONGsファイルもしくはシーケンスを、CD-R/RWのルートにフォルダを作成して書込むことができるようになりました。

MEMORY TO CDではマルチセッション書込に対応しているので、ディスク容量の限界までデータを追記していくことが可能です。

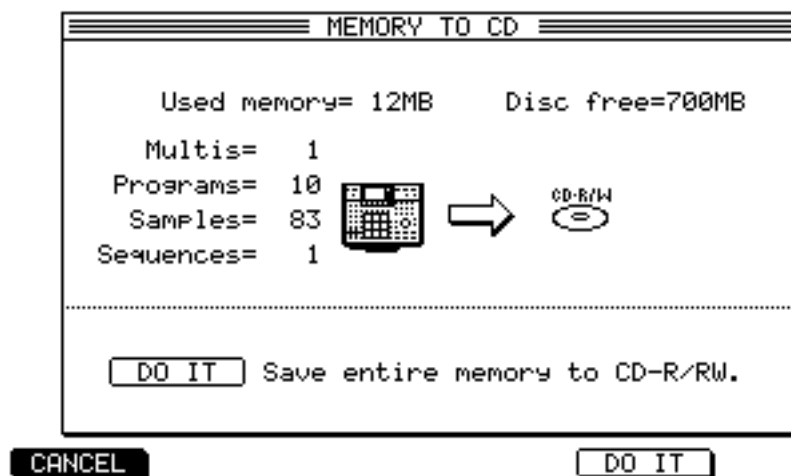
MPC4000にCD-R/RWドライブが接続されていると、SAVEモード/LOADモードの[F2]UTILITYページのDoフィールドでMEMORY TO CDを選択することができます。

MEMORY TO CDを選択すると以下の画面が表示されます。

Save sequence typeフィールド	シーケンスの保存形式をALL SEQs AND SONGsかSEQUENCESで選択します。
File nameフィールド	ALL SEQs AND SONGsを選択すると表示されるフィールドで、ALLファイル名を設定します。
MIDI file typeフィールド	SEQUENCESを選択すると表示されるフィールドで、シーケンスのMIDIファイルタイプを0か1で設定します。
Modeフィールド	書込モードをTEST+WRITE/TEST ONLY/WRITE ONLYから選択します。TEST ONLYを選択すると書込をシュミレートして検証し、実際にデータは書込まれません。WRITE ONLYを選択すると、テストをせずに書込が開始されます。TEST+WRITEを選択すると、テスト後に連続して書込が開始されます。
Write speedフィールド	接続されているCD-R/RWドライブに応じた書込速度が表示されるので任意の速度を選択します。
New disc nameフィールド	作成されるディスク名を設定します。
Folder nameフィールド	ディスクのルートに作成するフォルダ名を設定します。 デフォルトでは現在の年月日が6桁の数字で設定されています。

操作

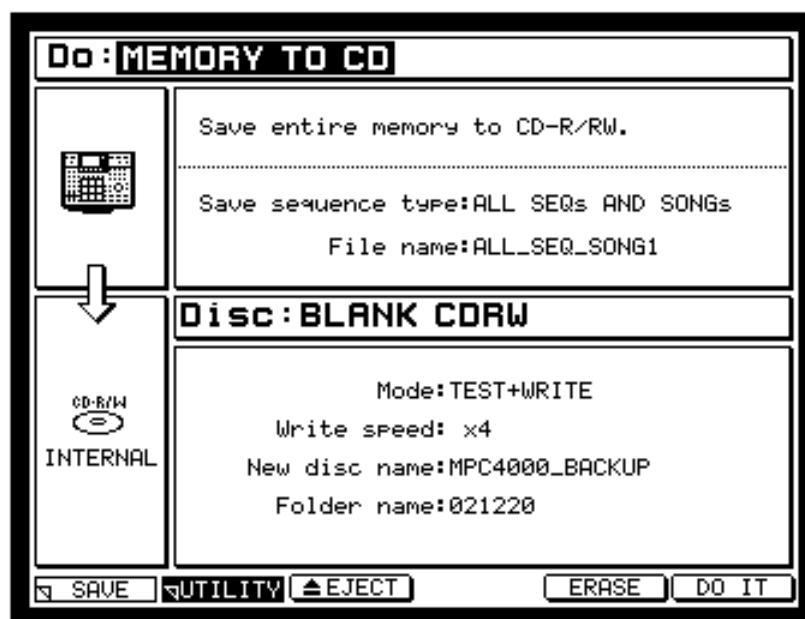
1. ATAPI/SCSI/USBのCD-R/RWドライブをMPC4000に接続して起動します。
2. SAVE/LOADモードの[F2]UTILITYページでDoフィールドにカーソルを合わせてMEMORY TO CDを選択します。
3. シーケンスの保存形式をALL SEQs AND SONGsかSEQUENCESで選択し、選択に応じてFile nameフィールドかMIDI file typeフィールドを設定します。
4. MEMORY TO CDを選択すると接続されているCD-R/RWドライブがDiscフィールドで自動的に選択されます。
複数のCD-R/RWドライブが接続されていて他のドライブが選択されてしまった場合には
Disk Listポップアップウィンドウを開いて任意のドライブを選択して下さい。
5. Modeフィールドで書込方式を選択します。(TEST+WRITEを推奨)
6. Write Speedフィールドで書込速度を設定します。
7. New Disc Nameフィールドでディスク名を設定します。
ディスク名として使用できるのは、大文字のアルファベットと0から9までの半角数字と
_ (アンダースコア) です。
8. Folder Nameフィールドで作成されるフォルダ名を設定します。
9. [F6]キー(DO IT)を押して以下のMEMORY TO CDポップアップウィンドウを開きます。



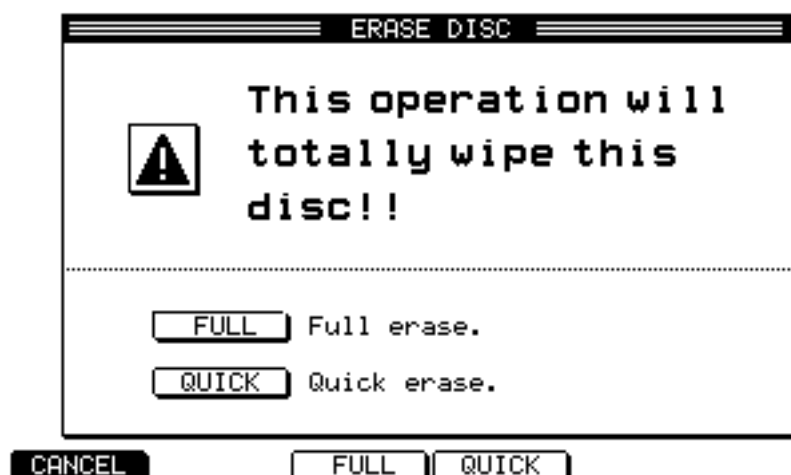
10. Used memoryフィールドには使用メモリの近似量が、Disc freeフィールドにはディスクの空き容量が表示されます。
Multisフィールド/Programsフィールド/Samplesフィールド/Sequencesフィールドには、それぞれのアイテム数が表示されます。
使用メモリ量がディスク空き容量を越えている場合には、書込むことができませんので
メモリ内のファイルを削除するか新しいディスクと交換して下さい。
11. [F5]キー(DO IT)を押して書込を開始します。
12. 書込が終了すると自動的にディスクが排出されます。

CD-RWの消去について

CD-RWが挿入されている場合、以下のように[F5]キー(ERASE)が表示されます。



[F5]キー(ERASE)を押すと以下のERASE DISCポップアップウィンドウが表示されます。

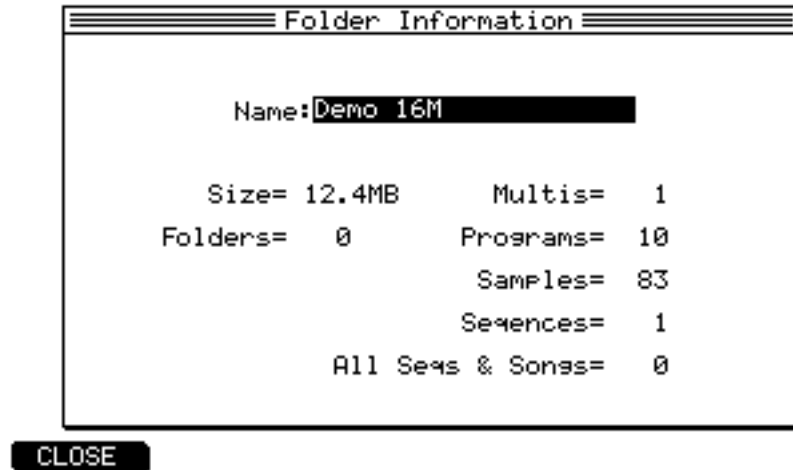


- | | |
|-------------|---|
| QUICK ERASE | 消去状態を示す記号を書込むだけなのでFULL ERASEに比べて短時間で終了します。通常はこちらを使用して下さい。 |
| FULL ERASE | 物理的に全データを消去するのでQUICK ERASEに比べて時間がかかります。 |

Folder Informationポップアップウィンドウを追加

対象フォルダ内のファイル数とファイルの総容量を確認できるようになりました。

LOADモードと[F2]UTILITYページでフォルダを選択して[WINDOW]キーを押すと、Rename Folderポップアップウィンドウが以下のFolder Informationポップアップウィンドウへと変更されています。



NameフィールドでJOGを回すと、Folder Nameポップアップウィンドウが開いてフォルダをリネームすることができます。

Sizeフィールドには対象フォルダ内のファイルの総容量が表示され、Foldersフィールドには対象フォルダ内のフォルダ数が表示されます。

Multisフィールド/Programsフィールド/Samplesフィールド/Sequencesフィールド/All Seqs & Songsフィールドには、それぞれのファイル数が表示されます。

マルチブロック/プログラムブロックに $\square$ を追加

送信先にMAINモードのPgm changeフィールドなどで設定されているプログラムチェンジナンバーに該当するパート/プログラムがない場合に、そのことを視覚的に確認できるようになりました。

MULTIモードでは[F1]LISTページ/[F2]MIXページ/[F3]MIDIページ/[F4]SPANページのマルチブロックに、PROGRAMモードでは[F1]LISTページ/[F2]KG MIXページ/[F3]PITCHページ/[F4]EDIT 1ページ/[F5]EDIT 2ページ/[F6]ZONEページのプログラムブロックに $\square$ が追加されました。

送信したプログラムチェンジが受信されなかった場合には $\square$ が $\blacksquare$ へ変更され、この状態では内蔵音源がミュートされていることを表わしています。

プログラムブロックにCurveフィールドを追加

MPC3000/MPC2000で作成されたプログラムとの互換性を向上させる為に、プログラムブロックにCurveフィールドが追加されました。

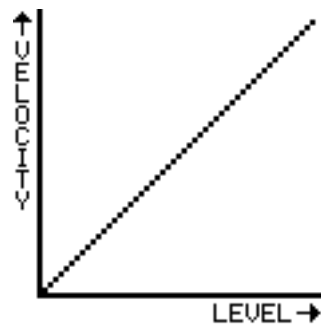
PROGRAMモードの[F2]KG MIXページ/[F3]PITCHページ/[F4]EDIT 1ページ/[F5]EDIT 2ページ/[F6]ZONEページのプログラムブロックにCurveフィールドが追加されています。

Program 2	◀	Curve:LIN	Type=KEYGROUP
Level:+00.0dB	Tune:+00.00	Monitor:PROGRAM	

Curve ベロシティ・カーブをLINかLOGで選択します。

LIN

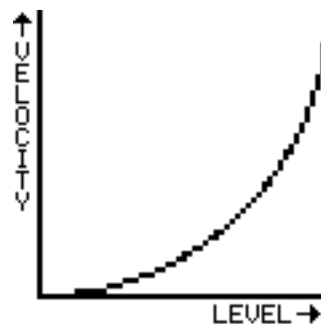
ベロシティは直線的に変化します。



LOG

ベロシティは対数カーブに沿って変化します。

値が増えていくときは終了点に近づくほど変化幅が大きくなり、
値が減っていくときは終了点に近づくほど変化幅が小さくなります。





AKAI professional M.I. Corp.

